

ヨン・プロスパー・ンゴ（ヨン）

ビジョン・イン・アクション・カメルーン (VIAC)

カメルーン・南西州 ボヤ市

民族 / 部族: カメルーン
母語: 英語
宗教: イスラム教
職業: 農場管理者



仕事について：

ヨン・プロスパー・ンゴは「前向きな変化の起爆剤」となり、「農村開発における斬新さとリーダーシップの道標」となることを目指しています。

ヨンは、賑やかなボヤの町とカメルーン山の熱帯雨林の間に位置するボクワイ村で生まれ育ちました。学校で法律を学んだ後、家族の土地を活用してキャッサバとプランテンの栽培に参入したことを皮切りに、農業界に足を踏み入れました。その後、養鶏から養豚に移行するなどして、さまざまな農業の実践を精力的に理解しながら、多様な事業展開を図ってきました。

ヨンの地元のコミュニティは、土地紛争や資源管理の問題を抱えています。多くの人々が経済的機会を得るための手段として教育を受け入れる一方で、開発を歓迎する人々と、変化に抵抗する人々の間には依然として抗争が絶えません。アングロフォン（英語圏）の危機は国内避難民の急増を招き、人々は食糧と収入の安全保障を求め、国内のより安全な地域に避難しています。

ヨンは、持続可能な農業を効果的に実践するための知識や技能を高めたいと願っています。コミュニティ開発について学ぶことは、彼のコミュニティの社会的結束を強化するために不可欠だと考えているからです。

送り出し団体について：

ビジョン・イン・アクション・カメルーン (VIAC) は2007年にユース・クラブとして発足し、カメルーンの南西地方を拠点に、大学生を対象とした技能訓練とHIV予防に関するピア・エデュケーションを行っています。食の安全保障と収入の持続可能性を強化するため、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルスと持続可能な農業に関する教育プログラムを企画し、社会から疎外された地域の若い女性たちの支援を目的としています。団体の専属養豚専門家として、ヨンがコミュニティの必要とする畜産研修プログラムを、より良いものにしてくれることを期待しています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)

